

## 平成 19 年度第 4 回太田地域協議会会議録

---

◆日 時：平成 19 年 12 月 21 日（金）午後 2 時 00 分～

◆会 場：太田文化プラザ「生活実習室」

---

### ◆協 議

平成 19 年度地域枠予算の執行について

---

### ◆出席した委員の氏名

出席委員 16 人

大信田弘喜、大信田康雄、加藤 進、草薨太郎、倉田良子、小松一男  
野中シゲ子、鈴木弘之、鷹觜信行、田口誠毅、福原榮司、藤澤由希子

欠席委員 2 人

伊藤昭子、小松 誠、今野勝代、高橋美佐緒、泉 澄彦、藤原鈴司

---

### ◆職 員

高 橋 共 男（地域振興課長）

高 貝 清 一（地域振興課参事）

小 松 明 彦（地域振興課主査）

細 井 誠（地域振興課主任）

野 中 舞（地域振興課主事）

（午後 2 時 00 分開会）

### ○高橋共男地域振興課長（以下「地域振興課長」と表記）

ただ今から、平成 19 年度、第 4 回太田地域協議会を開催いたします。本日は、お忙しいところご出席くださりまして誠にありがとうございます。開会の前に事務局からお詫びを申し上げます。11 月 28 日付けの開催通知文書では、協議会でワークショップを行うとしておりましたが、その後、教育委員会から地域枠予算の事業執行について打診を受けましたので、急きよそれを協議案件とすることにしたので何卒ご理解をお願い申し上げます。

それではただいまから、平成 19 年度第 4 回太田地域協議会を開会いたします。本日の協議会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 9 条第 3 項の規定によりまして成立したことを報告いたします。

それでは会長からご挨拶をお願いいたします。

#### ○加藤進会長（以下「会長」と表記）

今年も残すところ 10 日となりました。年末でお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。今年も皆様からご協力いただき、協議会も進んでいます。厚く御礼申し上げます。本日の協議会は課長から説明があったように平成 19 年度の地域枠予算の新規事業が出てきたということと、実施状況等について皆さんに聞いていただくことが主なことになろうかと思えます。その後、前回の協議会でお願いしたところですが、太田の地域振興計画についてある程度方向性を固めたいということから、委員の皆さんからたくさんの課題を頂戴したいのでそれに基づいてワークショップというような手法で勉強したいと思いますのでよろしくをお願いしたいです。

それと報告でしたけれど 12 月 3 日に大仙市都市計画マスタープラン策定委員会に出席してきました。そのマスタープランの策定委員のメンバーというのが秋田県立大学の山口教授と国土交通省の湯沢河川国土事務所の副所長、県の仙北地域振興局の建設部の次長、大仙警察署長、大曲駅長、それと各地域協議会の会長達と東部農業委員会の会長、大仙市男女共同参画審議会の会長、大仙市社会福祉協議会の会長、大曲商工会議所の専務理事、大曲地区商工会合併推進協議会長、大仙市建設部の部長ということで総勢 19 名でした。この中で会長は秋田県立大学の教授になりました。代理は湯沢工事事務所の副会長です。これまでは大曲の都市計画がありましたが、合併を機会に旧 8 市町村を含めて計画を作るということでした。いずれ都市計画マスタープランは都市計画法に基づいて市長が長期的な視点にたった都市計画に関する方針として全ての都市の将来像、その実現に向かった取り組みの方向性を決めるということのようです。太田も地域に入っているということですが、特別に太田が地域に入っているからといって都市計画事業をやれるということではならないようです。いずれ大仙市になったということとその地域に入っていくというようなことです。以上私が太田地域代表ということで出席したことを報告いたします。以上を持ちましてご挨拶に代えさせていただきます。

#### ○地域振興課長

ありがとうございました。それでは協議事項に入ります。進行は会長をお願いします。

#### ○会長

協議に入ります前に、会議録署名委員を私から指名させていただきます。田口委員と福原委員によりしくお願いします。

それでは協議に入ります。平成 19 年度地域枠予算の執行について、事務局から簡単に説明願います。

（配布資料に基づき、事務局が説明）

#### ○会長

みなさんこれに対して何かありませんか。

○鈴木弘之委員

暮れも押し迫ったところでこのようなお願いをして恐縮です。昨年も日本ハムファイターズの伊藤剛投手を迎えて太田と西仙北地域の子どもたちを招いて野球教室を行いました。伊藤選手は神奈川県出身で山梨県の日大明誠高校からNTT関東に進み日本ハムファイターズに入団し、現役の選手です。実は奥様が西仙北町出身ということで住所も西仙北地域においでいます。昨年も野球教室を行ったわけですが、大変すばらしい指導をしてもらい、また来年も子ども達のために是非実施してくださいとの強い要望がありましたので提案させていただきました。

実は平成11年からプロ野球のOBを迎えて子ども野球教室を行って9年ほどになりそれから継続してきました。それまでは太田地域から高校野球で甲子園に行った選手はいませんでした。実施してから今まで3人の選手が甲子園に行っています。

また今年太田中学校からオール秋田に5人が選ばれておりまして、新人としては今4人が選ばれておりまして東北大会等に出場しておりまして優勝しております。彼らもこのような野球教室の参加者でありぜひ子ども達の育成のために予算を使わせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○会長

鈴木さん補足説明していただきありがとうございました。何か皆さんご意見ご要望ありますか。

○田口誠毅委員

細かいことでしたが、資料の予算額の平成19年度は18年度の誤りではないか。

○事務局

誤りですので訂正します。

○会長

他になれば、子ども達のために野球教室をやりたいということで、この事業執行について承認していただいでよろしいでしょうか？

○一同

異議無し

○会長

次に19年度の執行状況について事務局から説明願います。

(配布資料に基づき、事務局が説明)

○会長

ご説明いただきましたが何かご質問やご意見ありませんか。

○倉田良子委員

2番の3月公演予定のものは公民館で決まっているものでしょうか。以前協議会で検討しなかったですか。

○事務局

それは違います。公民館で決めていました。

○倉田良子委員

4番の地域活性化推進事業の15万円を予算計上していたのに9千円しか使われていないというところをもう少し説明してもらいたいです。

○事務局

まず使用額の9千円というのは会場借り上げ料及びお茶代であります。残りが予算特集号という旧太田町時代からのもので、懇談会用の資料を作る予定で十数万円予算を組んでおりましたが、本庁の方で全市版を作成しましたので改めて出さなくていいということで今回未執行となっております。

○倉田良子委員

関連して5番ですけど、5番についての2月開催予定で40万円という予算を計上していて、1回やった58,280円のわけですが、このあとのことについてそうすると20年度の予算もまた見えてくるのではないかとということでそこらへんお願いします。

○地域振興課長

この5番の件ですが、地域自治区の組織も一緒、あるいは地域協議会も一緒に2月で去年はあゆかわのぼるさんをお願いして、地域のグループの発表会も兼ねてやったことですけど、また2月に開催すればある程度執行するという話したと思っています。そのときのあゆかわものぼるさんあるいは別の人を連れてくるかということは2番の芸術文化振興事業とからめて教育委員会と私の方と協議しているところです。地域づくりは地域振興課だけで前にも出てダメでそのフォローしていただくのが教育委員会の社会教育と聞いていましたのでそこらへん協議しているところです。このあと来年度もこういうふうになると思いますが地域づくりはやはり行政だけでなく、こういう関係機関も入ってみんなでやらなければと思ってもう一度検討しているところです。ですのでよろしくお願いします。

○倉田良子委員

分かりました。それでは13番の総合支所長さんの枠について、支所長さんが何か考えている今年度やりたいということは上げられていますか。

○地域振興課長

ここの総合支所長の枠というのは災害など緊急のとき、あるいは側溝が壊れたとか、あるいは舗装が壊れたときなど、残高が不足しているときに執行するもので、支所長が単独で考えて執行するものではありません。

○倉田良子委員

分かりました。これからまず13番はできるだけ使われないことだし2番や5番に関してはできるだけ活性化につながるものへどうか地域振興課の方で導いてもらえればありがたいことだなと思っています。

○会長

他にありませんか。

○田口誠毅委員

基本的な質問ですが、執行額が500万円に対して290万円浮くことですが、今後行われる事業としてはあまり額はないと、そうなった場合余ったお金は使わないでそのままということですよ。

○地域振興課長

はい。前回の会議で説明したとおりと考えております。

○会長

やっぱり使いやすいような予算のたて方にしないとまずいかもしれないな。

○地域振興課長

ある程度組んだ予算の範囲内で申請された段階で執行していただければと思っておりますけども。あるいは教育関係が予算を最初にいろいろもらっているけども執行額が少ないような感じがします。

○会長

(予算を)組むとき500万円で、使うとき300万円というのは若干考えなくてはと思いますね。

○地域振興課長

公金でするのである程度予算執行の趣旨に合わないものははずすということです。

○会長

ただ使えばいいというわけでもないけど、必要なものがあるとすればな。使わなければそのまま不用額だという考え方もあるけど、予算というのは100%使って初めて効果がでるだろうから。

○地域振興課長

今回の教育委員会のように何かあれば執行できますが、なければそのまま不用額になってしまいます。

○会長

そうすれば執行率は資料に書かれていることだけれども、これから事業が出てくると思うけどその事業というのはどれくらい予定しているか。

○事務局

芸術文化事業は教育委員会で検討されているようです。ただ講演する方によって単価は違ってきますがたいだい 50 万円前後のようでした。

○会長

ただもうちょっと予算立てるときは吟味してもらうことを要望します。

○事務局

はい。

○会長

このほかに皆さん何かありますか。なければこれで本日の協議会を閉じたいと思います。

会議録署名委員

---

---